

第22回アビリンピック埼玉大会 2026 に出席しました (埼玉県障害者技能競技大会)

令和8年7月4日（土）、第22回「アビリンピック埼玉大会」（1日目）が開催され、埼玉労働局長（片淵 仁文）が出席しました。

～「アビリンピック」(ABILYMPICS)とは～

「障害者技能競技大会」の愛称で、「アビリティ」(ABILITY/能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたものです。この大会は障害のある方々が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の方々が障害者雇用に対する理解と認識を深め、雇用の促進を図ることを目的として開催。

アビリンピック埼玉大会 2026 は、主催：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部、後援：埼玉労働局の他8の自治体・団体・企業、協賛企業10社により、2日間・2会場で開催。



開会式の様子（写真中央：埼玉労働局長）

開催1日目に行われた開会式では、埼玉労働局は祝辞を述べ、日頃から技能の向上に励み、本大会に挑戦する選手の皆さんへ敬意を表するとともに、持てる力を十分に発揮し、日頃の成果を遺憾なく発揮されることを期待する旨を述べ、選手を激励しました。



《1日目の競技の様子（一部）》



ベッドメイキング（ペア）



小売物流ワーク



パソコンデータ入力



喫茶サービス



電子機器組立
（競技課題）

大会2日目は、令和8年7月11日（土）ポリテクセンター埼玉で開催予定です。

埼玉労働局では、今後も障害のある方々の職業能力の向上及び障害者雇用の促進に向けた取組を推進してまいります。